

Welcome!!



浜松こども基金

設立記念イベント

2026.2.8 @グランドホテル浜松

代表挨拶

浜松こども基金 代表
山田大記



1. 浜松こども基金 概要説明

2. 資金調達状況・収支報告

3. 助成制度のご案内

4. 今後の皆さんの関わり方

1. 浜松こども基金 概要説明

2. 資金調達状況・収支報告

3. 助成制度のご案内

4. 今後の皆さんの関わり方

ReFrameと浜松こども基金

NPO法人ReFrame

直接支援

子どもの居場所支援事業

ReFrameがプレイヤーとしてご家庭を支援



子どもの貧困課題

居場所作りによる
相対的生活困窮家庭の多面的支援

アイコン

対象課題

活動

中間支援

各種支援団体の運営基盤強化事業

ReFrame以外の支援団体を後方支援



子どもたちを取り巻く様々な課題

支援団体の活動サポート
地域全体で子ども達を支える仕組み作り

浜松こども基金とは？

浜松こども基金は、

- **NPO法人ReFrameのひとつの事業**
ー内規で浜松こども基金を明記・将来的には財団化も視野
- **ReFrameの活動には助成をしない**
- **対象は子どもたちを取り巻く課題全般**

背景：子供たちの現状



※実際には、ある子どもに複数の困難が折り重なっていることは珍しくないという点に留意が必要

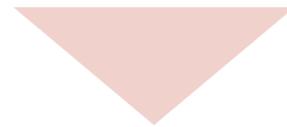
※日本財団「子ども第3の居場所全国展開に向けた提言書」(2022年4月)より

3人に1人が何かしらの困難を抱えている

構想のきっかけ

支援現場の厳しい現実

素晴らしい想いを持っている方が沢山いるが、思いが形にならない



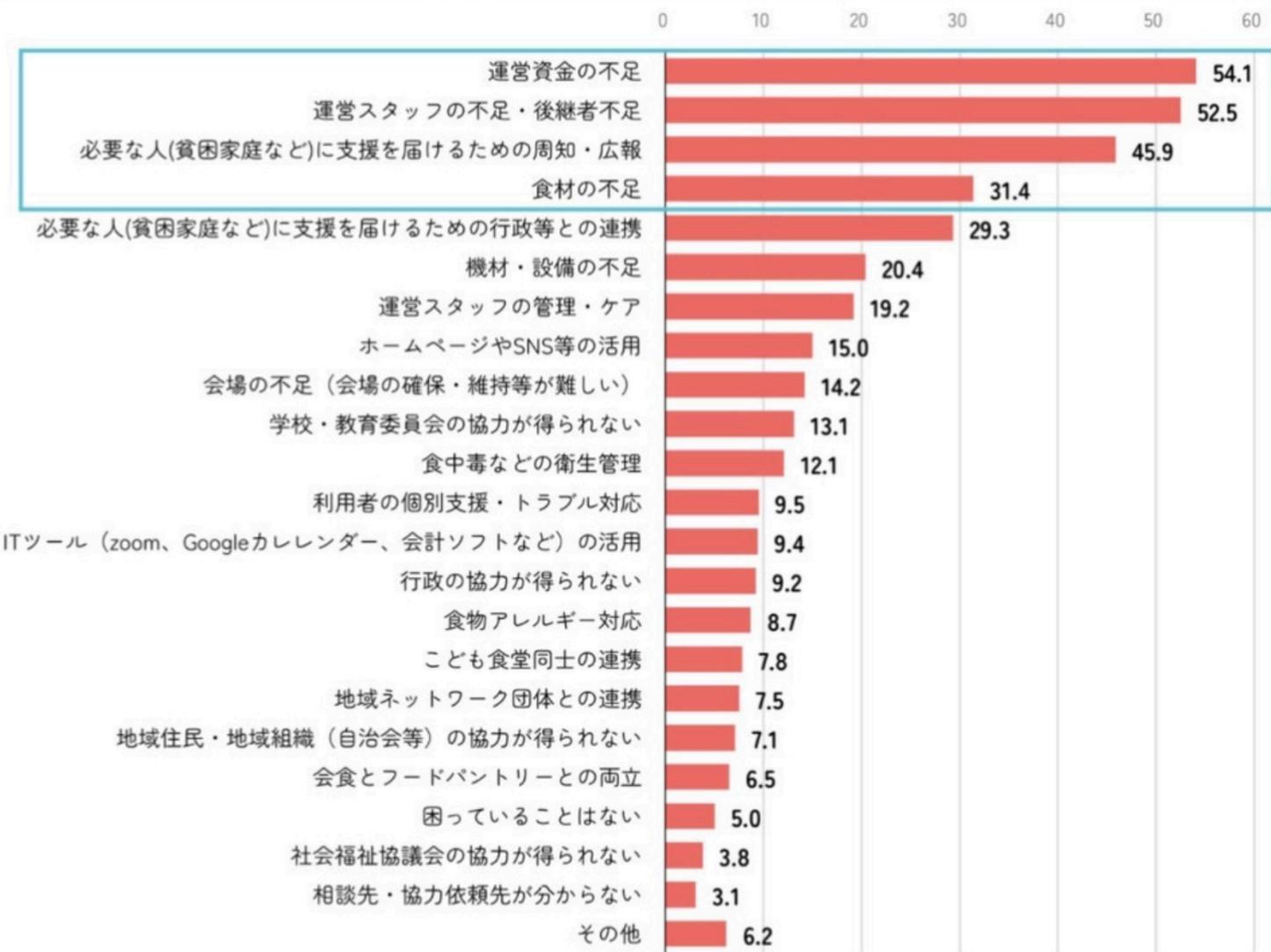
「このままじゃ何も変えられない」

支援団体の現状

全国の子ども食堂へのアンケート

こども食堂での困りごと（複数回答）

回答数：1,302件 単位：%



1

資金不足

少額の寄付・自己資金・単発の助成金へ依存。

2

人手不足

運営スタッフ・後継者の不足。

3

発信力不足

地域社会や困り事を抱える家庭への発信力不足。

4

ネットワーク不足

支援団体間のネットワーク不足。

※むすびえ第9回「子ども食堂の現状&困りごとアンケート2024」より

浜松こども基金の機能



01

資金の提供

継続的な助成により、各団体活動の持続・拡大をサポートします。

02

人の提供

ボランティアスタッフの紹介により、各団体の人手不足を解消します。

03

広報活動

支援団体に代わり、課題や活動を地域社会へ発信します。

04

ネットワーク構築

ネットワーク構築により、団体間の情報共有・連携を促進します。

コンセプト図(Before)

相対的生活困窮 学習・体験格差 ヤングケアラー



困難に直面する子ども

DV・社会的養護 病気・障がい いじめ・不登校



コンセプト図(Before)

相対的生活困窮 学習・体験格差 ヤングケアラー



困難に直面する子ども

DV・社会的養護 病気・障がい いじめ・不登校



<支援団体>

資金・人手不足



協力体制の不足



コンセプト図(Before)

相対的生活困窮 学習・体験格差 ヤングケアラー



困難に直面する子ども

DV・社会的養護 病気・障がい いじめ・不登校



<地域社会>
個人



企業



<支援団体>
資金・人手不足



協力体制の不足



不十分なコミュニケーション

コンセプト図(Before)

相対的生活困窮 学習・体験格差 ヤングケアラー



困難に直面する子ども

DV・社会的養護 病気・障がい いじめ・不登校



<地域社会>

個人



企業



不十分なサポート

不十分なコミュニケーション

<支援団体>

資金・人手不足



協力体制の不足



コンセプト図(Before)

相対的生活困窮 学習・体験格差 ヤングケアラー



困難に直面する子ども

DV・社会的養護 病気・障がい いじめ・不登校



限定的
支援

<地域社会>
個人



企業



不十分なサポート

<支援団体>
資金・人手不足



協力体制の不足



不十分なコミュニケーション

コンセプト図(After)

相対的生活困窮 学習・体験格差 ヤングケアラー



困難に直面する子ども

DV・社会的養護 病気・障がい いじめ・不登校



浜松こども基金

コンセプト図(After)

相対的生活困窮 学習・体験格差 ヤングケアラー



困難に直面する子ども

DV・社会的養護 病気・障がい いじめ・不登校



<地域社会>
個人



企業



寄付
ボランティア人材

課題・活動の発信



浜松こども基金

コンセプト図(After)

相対的生活困窮 学習・体験格差 ヤングケアラー



困難に直面する子ども

DV・社会的養護 病気・障がい いじめ・不登校



<地域社会>

個人



企業



寄付

ボランティア人材

浜松子ども基金



助成金

+人材提供
+ネットワーク

<支援団体>

資金・人手不足の解消



協力体制の構築



課題・活動の発信

課題解決の提案

コンセプト図(After)

相対的生活困窮 学習・体験格差 ヤングケアラー



困難に直面する子ども

DV・社会的養護 病気・障がい いじめ・不登校



多面的・継続的
支援の実現

<地域社会>
個人



企業



寄付
ボランティア人材



浜松こども基金

助成金
+人材提供
+ネットワーク

<支援団体>
資金・人手不足の解消



協力体制の構築



課題・活動の発信

課題解決の提案

コンセプト図(After)

相対的生活困窮 学習・体験格差 ヤングケアラー



困難に直面する子ども

DV・社会的養護 病気・障がい いじめ・不登校



地域みんなで支える仕組み

<地域社会>
個人



企業



寄付
ボランティア人材

課題・活動の発信

浜松子ども基金



助成金
+人材提供
+ネットワーク

課題解決の提案

<支援団体>
資金・人手不足の解消



協力体制の構築



多面的・継続的
支援の実現

ボードメンバー



代表

山田 大記

- ・元プロサッカー選手
- ・NPO法人Re Frame副代表



西井 美聡

- ・NPO法人Te To Te 理事
- ・おひさま食堂



浅山 恵一

- ・浜松市社会福祉協議会
- ・浜松市こども支援コーディネーター
(社会福祉士)



夏目 記正

- ・地域共創活動家
- ・セキスイハイム東海(株)営業所長
- ・(株)BLUE LAKE Project代表取締役



原田 博子

- ・認定NPO法人はままつ子育てネットワーク
ぴっぴ 理事長
- ・浜松市こどもの権利に関する条例検討委員



小柳 敏厚

- ・(株)アビリティィー 代表取締役会長
- ・おひさま食堂 代表



遠山 将吾

- ・浜松市議会議員
- ・保護司
- ・非常勤講師



監事

長野 修一

- ・弁護士法人長野法律事務所 弁護士
- ・社会福祉法人浜松母子福祉苑_理事
- ・一般社団法人グローバル人財サポート浜松 理事



北 智美

- ・大和ハウス工業株式会社浜松支店
支店長付地域共生推進委員長
- ・(株)P's innovation base 取締役



小川 大貴

- ・サッカー選手
- ・NPO法人Re Frame代表

大切にしたい価値観

「困った時はお互い様」
課題や格差を互いに補い合う社会を残したい



1. 浜松こども基金 概要説明

2. 資金調達状況・収支報告

3. 助成制度のご案内

4. 今後の皆さんの関わり方

資金調達状況

発起人

2025年に1万円以上のご寄付をいただいた方



540名以上の個人から合計1,000万円以上のご寄付

2025収支報告

歯科医院 貴金属のご寄付



有価物回収

KAWARYO PGM様

⇒ 金属を現金化して寄付

11医院が賛同

資金調達状況

法人会員(2025年)

- 明石石油株式会社 様
- フジモーターレン株式会社 様
- ミサワホーム株式会社 様
- 株式会社アビリティー 様

(2026年～)

- 静岡銀行様

2025収支報告

収入

法人寄付 50万円

歯科医院 120万円

個人寄付
1,030万円

1,200万円

2025収支報告

収入

法人寄付 50万円
歯科医院 120万円
個人寄付 1,030万円

1,200万円

支出

浜松こども基金 資本金 1,000万円
経費 200万円

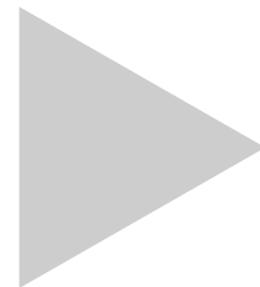
- イベント 100万
- 発起人バッジ 30万
- 印刷物 10万
- トライアル助成10万
- syncable手数料 35万
- その他諸経費 15万

2025収支報告

収入

法人寄付 50万円
歯科医院 120万円
個人寄付 1,030万円

1,200万円



支出

2026年度 助成金 500万円
助成金 積立 500万円
経費 200万円

- イベント 100万
- 発起人バッジ 30万
- 印刷物 10万
- トライアル助成10万
- syncable手数料 35万
- その他諸経費 15万

今後の資金調達

応援商品の開発・導入



寄付型自販機

(ユニバーサル商事様)
→1本5円が基金へ



応援定食

→1食30円が基金へ
(社食/飲食店で導入)



⇒ 安定的な資金調達 & 多くの人に関わる仕組み

1. 浜松こども基金 概要説明

2. 資金調達状況・収支報告

3. 助成制度のご案内

4. 今後の皆さんの関わり方

対象領域

4つの支援対象領域 + α

経済的困窮（貧困）

障がい

外国人（言語・文化）

居場所

その他

公的支援の隙間を埋める柔軟な支援

助成制度の特徴

- 継続的支援（複数年）と単年度支援の組み合わせ
- 現金支援と現物支援の両方を活用
- 団体の事務負担軽減を重視した運営方針

助成制度

審査委員会

- 3名の審査委員による中立的審査
- 審査委員内訳
 - ・ 学術的知見を持つ有識者：1名
 - ・ 他地域で活躍する社会活動家：1名
 - ・ 浜松の子ども支援領域の有識者：1名
- 任期2年・最大2期(4年)まで

助成制度

助成スケジュール

- 2月 募集要項発表
- 3月～4月 募集受付
- 5月～6月 審査・助成先決定

(助成対象活動期間：R8年4月～令和9年3月)

1. 浜松こども基金 概要説明

2. 資金調達状況・収支報告

3. 助成制度のご案内

4. 今後の皆さんの関わり方

個人の皆さん

個人サポーター

	発起人	寄付者	ボランティア
HP掲載	○	○	○
意見交換会	○	○	—
報告会	○	○	—

法人の皆さん

法人サポーター

	ゴールドパートナー 100万円/年	シルバーパートナー 50万円/年	ブロンズパートナー 30万円/年	法人会員 10万円/年
HP掲載	○	○	○	○
SNS発信	個別	個別	個別	一斉
社員ボランティア参加	○	○	○	○
ポスター	○	○	○	○



企業・個人事業主

応援商品



	応援商品	応援自販機	イベント収益寄付
HP掲載	—	—	—
SNS発信	○	○	○
掲示物	POP・ステッカー	POP・ステッカー	POP・ステッカー
意見交換会	○	—	—

ご清聴ありがとうございました

「子ども支援のいま」



TALK GUEST

認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ
理事長

三島 理恵さん

「困った時に助けしてくれる人がいると思える社会の実現」に向けて活動をする中で、こども食堂と出会い、むすびえの立ち上げに参画。2022年に理事就任、2025年度より現職。

認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ HPより抜粋

社会からの支援をこども食堂につなぐ『むすびえ』と、
地域からの支援を子ども支援につなぐ『浜松こども基金』は、
どちらも「中間支援団体」のNPO団体です。

全国規模の認定NPO団体『むすびえ』に、2018年の立ち上げから参画されている三島さんが子ども支援の現状について感じていることや、中間支援事業の意義についても伺います。



TALK GUEST

認定NPO法人
はままつ子育てネットワークぴっぴ理事長
浜松こども基金ボードメンバー

原田 博子さん



TALK GUEST

浜松こども基金代表
ダウン症の息子を持つ2児の父

山田 大記さん



MC

タレント・1児の母
浜松こども基金発起人

久保 ひとみさん



浜松子ども基金
設立記念イベント

交流会

ご歓談をお楽しみください！！

閉会のご挨拶

浜松こども基金 ボードメンバー
夏目 記正



浜松こども基金

設立記念イベント

Thank you!!

お気を付けて帰りください